【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公開番号】特開2013-186270(P2013-186270A)
【公開日】平成25年9月19日(2013.9.19)
【年通号数】公開・登録公報2013-051
【出願番号】特願2012-50792(P2012-50792)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/34　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/133　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０９Ｇ　3/34　Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６５０Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６３２Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４２Ｂ
Ｇ０２Ｆ　1/133　５３５
Ｇ０９Ｇ　3/20　６６０Ｖ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６１１Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成27年3月6日(2015.3.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像データを入力する入力手段と、
前記入力手段により入力された画像データに基づいて中間画像データを生成する生成手段と、
前記入力手段により入力された前記画像データに基づく画像と、前記生成手段により生成された前記中間画像データに基づく中間画像とを順次表示させるために発光するバックライトと、
前記画像データに基づく画像の表示のための前記バックライトの第１発光期間が前記中間画像データに基づく中間画像の表示のための前記バックライトの第２発光期間よりも短く、且つ、前記画像データに基づく画像の表示のための前記バックライトの第１発光強度が前記中間画像データに基づく中間画像の表示のための前記バックライトの第２発光強度よりも高くなるように、前記バックライトの発光を制御する制御手段とを有することを特徴とするバックライト制御装置。
【請求項２】
前記制御手段は、前記第１発光期間と前記第１発光強度とに基づく第１輝度値と、前記第２発光期間と前記第２発光強度とに基づく第２輝度値との差が閾値未満になるように前記バックライトを制御することを特徴とする請求項１に記載のバックライト制御装置。
【請求項３】
前記制御手段は、前記第２発光期間と前記第２発光強度とに基づく第２輝度値が、前記

第１発光期間と前記第１発光強度とに基づく第１輝度値の４分の１以上となるように前記バックライトを制御することを特徴とする請求項１に記載のバックライト制御装置。
【請求項４】
前記制御手段は、前記第２発光期間と前記第２発光強度とに基づく第２輝度値が、前記第１発光期間と前記第１発光強度とに基づく第１輝度値の２倍以下となるように前記バックライトを制御することを特徴とする請求項１に記載のバックライト制御装置。
【請求項５】
前記生成手段は、前記入力手段により入力された２フレーム分の画像データに対して、１乃至２フレーム分の中間画像データを生成することを特徴とする請求項１に記載のバックライト制御装置。
【請求項６】
前記制御手段は、前記バックライトをスキャン方式で制御することを特徴とする請求項１乃至５の何れか１項に記載のバックライト制御装置。
【請求項７】
前記制御手段は、直下型の前記バックライトにおける各ブロックを独立制御することを特徴とする請求項１乃至５の何れか１項に記載のバックライト制御装置。
【請求項８】
前記制御手段は、前記バックライトの全面を同時に発光させることを特徴とする請求項１乃至５の何れか１項に記載のバックライト制御装置。
【請求項９】
前記制御手段は、前記第１発光強度での発光時と前記第２発光強度での発光時とのうちの少なくとも何れか一方において、間欠的に発光させるように前記バックライトを制御することを特徴とする請求項１乃至５の何れか１項に記載のバックライト制御装置。
【請求項１０】
前記生成手段は、前記入力手段により入力された第１画像データと、前記第１画像データの次に前記入力手段により入力された第２画像データとから検出された動きベクトルに基づいて、前記第１画像データに基づく第１画像と前記第２画像データに基づく第２画像との間に表示させるべき中間画像に対応する中間画像データを生成することを特徴とする請求項１乃至９の何れか１項に記載のバックライト制御装置。
【請求項１１】
画像データを入力する入力工程と、
前記入力工程により入力された画像データに基づいて中間画像データを生成する生成工程と、
前記入力工程により入力された前記画像データに基づく画像と、前記生成工程により生成された前記中間画像データに基づく中間画像とを順次表示させるために発光するバックライトを制御する制御工程であって、前記画像データに基づく画像の表示のための前記バックライトの第１発光期間が前記中間画像データに基づく中間画像の表示のための前記バックライトの第２発光期間よりも短く、且つ、前記画像データに基づく画像の表示のための前記バックライトの第１発光強度が前記中間画像データに基づく中間画像の表示のための前記バックライトの第２発光強度よりも高くなるように、前記バックライトの発光を制御する制御工程とを有することを特徴とするバックライト制御方法。
【請求項１２】
前記制御工程は、前記第１発光期間と前記第１発光強度とに基づく第１輝度値と、前記第２発光期間と前記第２発光強度とに基づく第２輝度値との差が閾値未満になるように前記バックライトを制御することを特徴とする請求項１１に記載のバックライト制御方法。
【請求項１３】
前記制御工程は、前記第２発光期間と前記第２発光強度とに基づく第２輝度値が、前記第１発光期間と前記第１発光強度とに基づく第１輝度値の４分の１以上となるように前記バックライトを制御することを特徴とする請求項１１に記載のバックライト制御方法。
【請求項１４】

コンピュータに、請求項１１乃至１３の何れか１項に記載のバックライト制御方法を実行させるためのプログラム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明のバックライト制御装置は、画像データを入力する入力手段と、前記入力手段により入力された画像データに基づいて中間画像データを生成する生成手段と、前記入力手段により入力された前記画像データに基づく画像と、前記生成手段により生成された前記中間画像データに基づく中間画像とを順次表示させるために発光するバックライトと、前記画像データに基づく画像の表示のための前記バックライトの第１発光期間が前記中間画像データに基づく中間画像の表示のための前記バックライトの第２発光期間よりも短く、且つ、前記画像データに基づく画像の表示のための前記バックライトの第１発光強度が前記中間画像データに基づく中間画像の表示のための前記バックライトの第２発光強度よりも高くなるように、前記バックライトの発光を制御する制御手段とを有することを特徴とする。